



北方キャンパス(岐阜経済大学)



西之川キャンパス(大垣女子短期大学)



2号館(完成予想図)



1号館(看護棟)

2019年4月岐阜経済大学が
生まれ変わります
看護学部設置認可申請中



② **[特集]**
看護学部設置認可申請中

- ④ 地域とのつながり
- ⑥ 教育最前線
- ⑩ キャリア支援課だより
- ⑫ 輝け!アスリートたち
- ⑭ キャンパス彩々
- ⑯ 研究室だより



特集

2019年4月、岐阜経済大学に看護学部設置認可申請中



岐阜経済大学
山田 武司 学長

2019年度の看護学部の設置は、2017年4月に発足した学校法人大垣総合学園において、法人合併における教育・研究資源の相乗効果を地域医療に貢献するために行われるものです。同年6月に設置した大垣総合学園将来構想検討委員会において、大垣女子短期大学看護学科を基にした本学看護学部の設置を審議し、その後の両大学共同による看護学部設置準備委員会を経て、同年10月の理事会において正式決定いたしました。大垣女子短期大学の看護学科（3年制）は2019年募集を停止し、それをベースに岐阜経済大学に看護学部看護学科（4年制）を設置することを申請中です。

学校法人大垣総合学園

岐阜経済大学

- 経済学部 — 経済学科 (90名)
 公共政策学科 (40名)
- 経営学部 — 情報メディア学科 (70名)
 スポーツ経営学科 (150名)
- 看護学部 — 看護学科 (80名) 2019年4月設置認可申請中
- 大学院 経営学研究科 (20名)

大垣女子短期大学

- 幼児教育学科 (50名) 3年制
- デザイン美術学科 (50名) 2年制
- 音楽総合学科 (50名) 2年制
- 歯科衛生士学科 (50名) 3年制
- 看護学科 (80名) 3年制 (2019年募集停止)

新看護学部では、看護師教育と保健師教育を行います。教育理念としては、①高い倫理観と豊かな人間力教育、②地域医療・チーム医療のための連携教育、③多様なリベラル・アーツ教育、④最新・高度な専門的知識と技術教育の4つを掲げています。また、教育の特徴としては、①大垣市民病院、博愛会病院等と連携した実践教育、②iPad等を活用した多彩な教育、③僻地医療・都市部医療を包含する多機能型・統合型地域医療活動の体験実習等の実施により、地域医療の未来を担い、創造できる広い視野をもつ高度専門職業人を育成します。加えて、高い看護師国家試験合格者を誇る前身である大垣女子短期大学の実績を踏まえて、高い教育力を目指し、学生や地域社会に魅力的な看護学部を創設します。



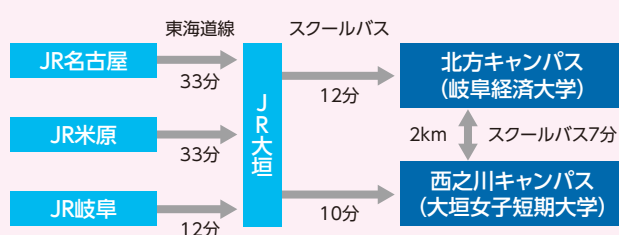
大垣女子短期大学
我部山 キヨ子 看護学科長
(岐阜経済大学看護学部長就任予定者)

- 東京大学医学部附属病院勤務、聖路加看護大学大学院修了 修士(看護学)
- 奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了 博士(PhD)
- 三重大学大学院医学系研究科教授、京都大学大学院医学研究科教授を経て、2017年4月大垣女子短期大学看護学科長就任
- 全国助産師教育協議会理事・副会長、厚生労働大臣賞受賞 など

設置理念

学問に対する探究心と人間に対する深い洞察力、さらに高い倫理観に裏付けられた看護学の専門的知識・技術を身につけ、複雑かつ変化する医療や社会のニーズに対応し、広く貢献できる人材育成を行います。

アクセス



学部概要

- 看護学部 看護学科設置認可申請中
- 2019年4月設置
- 北方キャンパス(岐阜経済大学)
大垣市北方町5-50(1~2年次)
- 西之川キャンパス(大垣女子短期大学)
大垣市西之川町1-109(3年次以降)
- 入学定員80名(収容定員320名)・修業年限4年
- 学位：学士(看護学)・看護師国家試験受験資格・保健師国家試験受験資格



大学名称変更(構想中)

2019年4月看護学部設置に伴い、本学の大学名称を変更するとともに、大垣女子短期大学においても「短期大学部」への名称変更を行うこととなりました。この大学名称の変更と看護学部の設置は、創立50周年に定めた「re-Birth」の旗印の下で、社会科学系大学であった本学が大垣女子短期大学と共に、生まれ変わることを意味しております。

新大学名は、大垣女子短期大学の短期大学部化により両大学が共有する名称となります。この大学名は、半世紀にわたり地元自治体・経済界の期待を背負った本学及び大垣女子短期大学の歴史を継承すると共に、本学と大垣女子短期大学の9学科からなる総合的な教育と研究を、地域の発展のために寄与する想いを込められた名称を予定しています。

第2期キャンパス整備

本学では、創立50周年記念事業第2期キャンパス整備として新2号館を新築します。2017年12月18日起工式を挙りました。

新2号館は、大学正面に位置し、鉄骨造3階建て(2,374.39㎡)で、屋上には校章を付けた小塔がある本学のシンボル棟となります。1階は、学生窓口をワンフロア化し、ワンストップサービス等の学生相談の利便性を一層高めます。2階は、学生の学びのきっかけを作る学修環境を整備します。3階は、会議室等を整備します。

新2号館は2018年8月竣工予定です。また、新2号館前の庭も合わせて整備し、本学のイメージは一新します。



新2号館(完成予想図)



学生ラウンジ(完成予想図)



キャンパス整備
(完成予想図)

学生納付金

- 入学金：20万円(初年次のみ)
 - 授業料：80万円(年間)
 - 教育充実費：50万円(年間)
 - 実験実習費：20万円(年間)
- 【初年度納付金170万円】

大垣女子短期大学(実績)

看護師国家試験

第105回看護師国家試験

○合格率 100% ○全国合格率 89.4%

第106回看護師国家試験

○合格率 95.3% ○全国合格率 88.5%

教育の特色

- ①看護師国家資格取得に向けた強力なバックアップを実施します。
- ②保健師養成のコースを設置を(予定)します。
- ③大学所在地である西濃地区の、地域医療から高度医療を担う多種多様な実習施設を活用します。
- ④教養科目は「医療英語」、「情報リテラシー」、「岐阜地域研究」、「環境論」、「子育て入門」など多様な科目を設置し、リベラル・アーツ教育を充実します。
- ④iPadを教育に導入し、実習施設においても書籍の持ち運びは不要です。
- ⑤スポーツクラブ、地域医療活動への積極的参加を奨励し、コミュニケーション力を向上させます。

岐阜経済大学アスリート育成クラブ 「岐阜県地域子ども支援賞」受賞

2017年11月21日(火)に、「岐阜県地域子ども支援賞」の贈呈式がありました。「岐阜県地域子ども支援賞」は、子どもたちが地域で行う様々な活動を支えている個人や団体の功績を称える賞です。

岐阜経済大学アスリート育成クラブは、今年度の受賞団体に選ばれ、他の34団体とともに神門純一岐阜県副知事より「支援賞」が贈呈されました。2013年より、地域の幼児から高校生を対象にサッカーや陸上競技など様々なスポーツ活動を指導・サポートしてきたことが認められたものです。



岐阜経済大学アスリート育成クラブとは？

本クラブは2013年4月に開設し、そのクラブ理念を「スポーツ競技の選手育成・発掘を目指すとともに、指導者の技能の向上を図ることを目的とする」として、ジュニアからシニア層まで幅広い方々の生涯スポーツができる環境づくりを目指しています。主な活動としては、①スポーツ教室(サッカー・ランニング・アスレチック)、②岐阜県トップアスリート出前指導での指導者派遣事業(県内の小・中・高校生対象)を実施しています。2017年度の実績としては、岐阜県トップアスリート出前指導を91団体に對して行いました。

今後の目標は、全国大会や東海大会出場を目指し、個々の競技力を向上させ、さらに、岐阜県や日本を代表する選手を育成することです。



との



地域の皆様との懇談会開催

2017年7月13日(木)11時から、本学食堂「Cafe Rest 50」にて、「地域の皆様との懇談会」が開催されました。この会は、近隣の自治会役員様から大学へのご意見等を伺い、本学の建学の精神である「地域貢献」に活かすことを目的とし、2015年度から年1回開催しています。今回は、11自治会から自治会長等15名の方が、大学からは、学長、両副学長はじめ16名が出席しました。



懇談会では、本学のスポーツ系の課外活動実績の新聞掲載の機会が増えたこと、かがやきカレッジに代表される文化的な行事の開催、大垣女子短期大学との合併、学生の自治会活動へのボランティア参加、地域の皆さんへの挨拶等に概ね高い評価をいただきました。本学は、災害時の避難場所に指定されており、防災面での活動も期待されています。

一方で、交通安全の観点から、大学周辺での自転車・オートバイ・自動車の運転におけるマナーについて具体的なご指摘もありました。

地域とともにある大学として、地域貢献活動への参加をさらに進め、地域の皆さんに迷惑となるようなマナー違反行為を減らすことを今後の課題とします。

岐阜県コミュニティ診断士

2017年11月22日(水)、岐阜県庁にて「岐阜県コミュニティ診断士認定証授与式」が開催されました。

「岐阜県コミュニティ診断士」は、岐阜県知事と岐阜経済大学学長とが共同で認定する資格で、授与式には、岐阜県コミュニティ診断士として認定された18名(うち本学学生10名)中15名が出席し、北川幹根岐阜県環境生活部次長、山田武司学長より認定証が授与されました。

その後、出席者を代表して、本学経済学部経済学科3年の川端竜太さんが決意表明を述べました。

岐阜県コミュニティ診断士とは？

地域コミュニティの現状について調査・分析を行い、それにより明らかとなった諸課題について、地域住民、自治体・NPO、企業など地域の様々な主体と協働して、その解決・改善に取り組み、地域コミュニティの再生・活性化を推進するコミュニティの専門家です。

岐阜県コミュニティ診断士の資格を取得するには、岐阜経済大学で実施する「NPOコミュニティ論」を修了し、その後行われる講義、実習・筆記試験に合格することが必要です。

2002年度創設から、2017年度までに346名の方が認定されています。

岐阜県立池田高等学校と 「高大連携教育協定」を締結



岐阜県立池田高等学校と岐阜経済大学及び大垣女子短期大学との
教育連携に関する協定書 調印式

2017年11月14日(火)に本学と大垣女子短期大学が、岐阜県立池田高校と「高大連携教育協定」を締結しました。

本学にとっては10校目の高校との連携協定の締結となりますが、池田高校については、法人合併をした大垣女子短期大学と合わせて3者での連携協定となりました。

協定の目的は、人間性豊かで幅広い教養・知識と地域連携に対する意欲を持ち、地域社会を支える人材を高校と大学及び短大が連携して育成し、高校・大学・短大それぞれの教育力、地域の発展に資する人材育成力を相互の協力により向上させることです。

今年度、早速、池田高校において、本学、大垣女子短期大学からの出前授業を実施しました。今後は、大学・短大による進路指導、キャリア形成への協力や、特別活動及び部活動を充実させるための活動を実施する予定です。

連携校

岐南工業高校、揖斐高校、池田高校、大垣養老高校、大垣商業高校、大垣桜高校、不破高校、海津明誠高校、飛騨高山高校、彦根総合高校

地域

岐阜経済大学生と 山縣市職員による意見交流会



自治体との地域連携の取り組みとして、2017年11月15日(水)、本学食堂「Cafe Rest 50」にて、山縣市職員と学生による意見交流会が開催されました。この会は、ワークショップ形式で実施され、山縣市特産品の販売戦略に関するアイデアを、学生と市職員がともに考えるというものでした。

「ソフピア共同研究室」や「まちなか共同研究室マイスター倶楽部」に所属する学生が22名、山州市の若手職員が12名、合計34名が参加。はそれぞれグループに分かれ、「黒にんにく」、「豆なかアイス」、「焼きカレーパン」といった、山州市における特産品について、販売方法やマーケティング戦略のアイデアを考えていきました。

意見交流会で出たアイデアとして、例えば、「工場見学ツアー」、「若者が好きそうなラーメンに使ってもらおう」、「パッケージに高級感を持たせ一つひとつパッケージに入れる」、「SNSを使って宣伝」、「山州市内の飲食店でデザートとして出してもらおう」などがありました。

学生たちは、それぞれ若者の視点からアイデアを積極的に出し、意見交流をしました。



連携自治体

岐阜県、大垣市、海津市、山州市、美濃加茂市、郡上市、下呂市、高山市、揖斐川町、坂祝町

岐阜経済大学学生消防団員修学支援奨学金

少子高齢化等の社会経済情勢の変化により、地域における防災活動の担い手を十分に確保することが困難になっています。このような現状に鑑み、大垣市は消防団への若い世代の加入促進を図ることを目的として2017年度より「大学生等消防団員奨学金制度」を設け、本学学生が8名入団しました。この制度で大学生が消防団活動に参加することは、貴重な体験となるとともに、消防や地域防災に関心を持つことで、卒業後においても、消防団活動や自主防災組織活動、また職業としての消防士を目指すきっかけになることが期待されています。こうした制度の導入は全国の先駆けとして注目され、テレビ局の取材を受けました。また、消防庁の刊行物「消防の動き」に紹介されました。



大垣市消防団入団式

大垣市がこの制度を発足させるにあたり、一定の活動をした学生消防団員については月額1万円の奨学金の支給を始めました。本学ではこの制度とタイアップし、「岐阜経済大学学生消防団員修学支援奨学金制度」を発足させました。この制度は大垣市に居住し、市内の消防団に加入して活動する学生に対し、さらに1万円の奨学金を給付し、学生の消防団加入の促進と、経済的負担を軽減し学業と両立させることを目的としています。現在10名の学生が大垣市内の分団に所属し、訓練、消防操法大会や火災予防活動等に参加し、地域防災の担い手として期待されています。なお、本奨学金について詳しく知りたい方は学生課までお問い合わせください。

第45回ゼミナール大会開催



12月6日(水)、岐阜経済大学恒例の学びのイベント「第45回ゼミナール大会」が開催されました。これは、毎年12月初旬に行われるゼミナール(演習)単位での研究発表会です。夏季休暇前後にテーマを決め、担当教員の指導のもと、ゼミナール単位またはグループ単位で調査や研究を進めます。大会の運営は、開催に向けた準備段階から、最後の表彰式まで、各ゼミナールの代表で構成される幹事会が中心になって行われるものです。当日は、5つの会場で並行して発表が行われ、教員の審査により、会場ごとに優秀グループが決まります。

今年度は40チームが参加し、これまでゼミナールで積み重ねてきた研究の成果を報告しました。テーマは金融、IoT、プログラミング、自動車産業、社会保障、アスリートの睡眠状況など実に幅広いもので、表彰式では5つのゼミナールが優秀賞に選ばれました。

菊本ゼミA



経済学部経済学科3年 **北村 雄嗣**さん(滋賀県 長浜北星高校出身)

昨年のゼミナール大会で優秀賞を頂いた私たち菊本ゼミAが今回目標に掲げたことは、昨年に続き今年も優秀賞を頂くということでした。全員で協力して、1年間実践的な調査活動を元に発表準備してきた結果、今回も優秀賞を頂くことができ、とても嬉しかったです。

この結果を糧に、これから本格化する就職活動や卒業論文にも意欲を持って取り組んでいきたいです。

菅谷ゼミ



経済学部経済学科2年 **鈴木 亜藝斗**さん(岐阜県 華陽フロンティア高校出身)

「学んだことをわかりやすく伝えたい」その一心で発表の準備を進めました。研究内容はもちろん、パワーポイントの作成もこだわりました。アニメーションを使い読んでほしい順番に文を出したり、ポイントとなる数字を強調させたりすることで、分かりやすさを追求しました。原稿を読む際には間の取り方から単語のイントネーションまで前日、前々日と深夜まで読み込みました。しっかりと準備をして発表に臨めたことで自信が付き、とてもいい経験になりました。

石坂ゼミB



経営学部スポーツ経営学科3年 可児 尚郁さん(岐阜県 県立岐阜商業高校出身)

石坂ゼミでは、「会計」をテーマに研究を行っています。スポーツ経営学科の学生も多いことから「プロ野球」に興味がある学生が多く「プロ野球の経営について」研究することにしました。

一番苦労したことは、上場していない親会社と球団独自の財務諸表を見ることでした。

この大会を通して、これまでよりゼミ生同士の信頼関係を深めることができました。

岸ゼミA



経営学部スポーツ経営学科3年 松本 知丈さん(岐阜県 池田高校出身)

私たちがお互いに興味あることについて話し合った結果、アスリートの睡眠状況と心理的回復力の関係というテーマで研究をすることになりました。ゼミナール大会までの準備は効率よく取り組めたものではなく、大会前日ギリギリまでかかり、発表の練習は当日1回のみになってしまいました。本番では全員うまくできるか心配でしたが、緊張しながらもとても良い発表をすることができ、優秀賞をいただくことができて嬉しく思います。

佐々木ゼミ



経営学部情報メディア学科3年 大久保 聡さん(福井県 道守高校出身)

私は「プログラミング思考を育てるボードゲームの開発」というテーマで研究を行いました。開発にあたって、国内外から取り寄せた様々なボードゲームで遊びルールの分析を行いました。また、プログラミング学習に関する文献も数多く読み、コンピュータを使わずにプログラミングを学ぶ方法を考えました。特に難しかったのが、ゲームの面白さとプログラミング学習の両立です。0からボードゲームを作り出すのはとても難しいことでしたが、試行錯誤の末に納得のいくゲームが完成したので満足です。

表彰	ゼミ名	演習	発表テーマ
優秀賞	岸ゼミA	演習II	アスリートの睡眠状況と心理的回復力の関係
	菊本ゼミA	演習II	「サード・プレイス」～商店街再生にむけた新たな視点～
	佐々木ゼミ	演習II	プログラミング思考を育てるボードゲームの開発
	石坂ゼミB	演習II	プロ野球球団のマネジメントに関する一考察
	菅谷ゼミ	演習II	少子高齢化と社会保障の未来
2位	原田ゼミM	演習I	高地トレーニングエリア整備の現状と課題
	高橋(勉)ゼミ	演習II	地方移住と地域再生の可能性
	井戸ゼミ	演習II	錯視を計測するwebサイトの開発
	原田ゼミB	演習II	キャンプ事業
	桑原ゼミ	演習II	ブラック労働に関する法律問題
3位	菊本ゼミC	演習II	商店街調査～商店街活性化につなげる～
	原田ゼミO	演習I	日本サッカー協会のマーケティングについて
	三和ゼミA	演習II	水の都大垣～酒蔵を中心として～
	篠田ゼミB	演習II	サプリメントの新しい使い方～運動前に使うと?～
	原田ゼミN	演習I	カーリング施設における管理経営の特徴と課題



ゼミナール協議会委員長

経済学部経済学科3年 川端 竜太さん(熊本県 八代清流高校出身)

今回で45回目を迎えた伝統あるゼミナール大会を無事に終えることができ、一安心しています。この大会を通じ、私は周りの方々に支えられているということ強く実感しました。その理由は、大会の準備期間から終了までのほとんどをサポートしてくれた教務課職員の方々の存在や、大会当日に起こった資料不足への対応も副委員長の2人や書記の中村君がいたおかげでスムーズに行うことができたからです。その他にも司会や設営係を引き受けてくれた学生たち、大会運営に関わって頂いた教員の方々のご協力があってこそ素晴らしい大会にすることができたと考えています。来年度以降、委員長をされる方も支えてくれる周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに伝統あるゼミナール大会をより素晴らしい大会にして頂きたいと思っております。

公共政策特論

「公共政策特論」は公共政策の立案や実施に係る方を毎週お招きして、オムニバス形式で講義を行っています。岐阜県内外で活躍される首長や議員、県庁や市役所の職員の方、新しい社会問題に対応しているNPOの方々にお話しただいており、これまでに、大垣市長、郡上市長、高山市長、飛騨市長、美濃市長、美濃加茂市長、本巣市長などにお越しいただきました。

経済学部(経済学科・公共政策学科)の2年次の必修科目になっており、今年度は100名ほどの学生が受講しています。毎回、講義の後半は質疑に当たっています。コミュニケーションカードを全員に配付し、講義の内容に関する質問を書かせて自ら発表させています。双方向のやりとりは学生にとっても緊張する時間ですが、学生の熱心な質問に講師の方が驚かれることもあります。

理論を中心に講義する公共政策論I・IIなどで学んだことが実際にどう動いているのか知ることができ、学生の学びを深める時間になっています。また、多様なバックグラウンドを持った社会人の姿に触れることで、社会に目を向け、自分の将来について考えるための気付きを与える時間になっているようです。



日程	氏名	所属・役職	講義テーマ
9月21日	勝田 美穂	岐阜経済大学 経済学部教授	オリエンテーション
9月28日	和田 直也氏	岐阜市議会議員	公共政策と議員の仕事
10月 5日	古川 明美氏	各務原市議会議員	主婦が議員となったわけ～議員とは?議会とは?政治とは?～
10月12日	熊谷 もも氏	元高島市議会議員	公共政策と私たちの役割
10月19日	都竹 淳也氏	飛騨市長	飛騨市の課題と重点政策～人口減少自治体における取り組み～
10月26日	勝田 美穂	岐阜経済大学 経済学部教授	自治体の政策について
11月 2日	林 慎也氏	大垣市役所 市民活動推進課主事	大垣市の市民協働とまちづくり
11月 9日	神田 孝行氏	大垣市役所 子育て支援課主幹	子育てなら大垣市
11月16日	飯盛 正規氏	大垣市役所 商工観光課主事	地域社会とまちづくり
11月30日	小川 敏氏	大垣市長	大垣市の未来ビジョンについて
12月 7日	川上 広長氏	岐阜県家庭支援課家庭支援第二係長C (岐阜県中央子ども相談センター)	児童相談所の業務と児童虐待の対応
12月14日	勝田 美穂	岐阜経済大学 経済学部教授	市議会議員の役割について
12月21日	大野 純生氏	岐阜県都市建築部都市公園整備局公共交通課 リニア推進室 課長補佐兼リニア推進係長	リニア中央新幹線について
1月11日	森枝 天平氏(構成作家) エルシャラカーニ(漫才コンビ)	株式会社 笑下村塾	笑える! 政治教育ショー
1月18日	勝田 美穂	岐阜経済大学 経済学部教授	まとめ

「ネイチャー出版 Scientific Reports」発表 森誠一教授

森教授らは、岩手県大槌町の河川に隔離的に生息する淡水型イトヨが、東日本大震災の津波の引き波により海の近くに移動し生息域を拡張させ、そこで川と海を往復する遡河性のニホンイトヨと交雑し、新規集団として定着していることを形態学的・遺伝学的に確認したとして、世界的に権威あるオンライン科学雑誌(1月26日公開)に発表しました。これは津波という自然現象が、生物多様性の生起に寄与する希有事例発見として高く評価されています。研究代表者である森教授は、その成果について2月9日に大槌町内のホテルで記者会見しました。同教授は、大槌町で震災発生の10年ほど前から研究を続けており、現在、復興まちづくりやふるさと教育に関する活動を地元行政と連携して実施しています。なお、「イトヨ」はトゲウオ科の魚類で、本学中庭の池に生息する「ハリヨ」のいわば近い親戚に当たります。

本論文のウェブ上掲載は、

<https://www.nature.com/articles/s41598-018-20075-z>

Impact of the huge 2011 Tohoku-oki tsunami on the phenotypes and genotypes of Japanese coastal threespine stickleback populations



地域企業研究



「地域企業研究」は、経済学科企業人育成課程で学ぶ学生のための特別科目です。企業人育成課程は地域に貢献する企業で活躍することを目指す学生のためのコースで、経済学の専門教育と協力企業による実践的な教育とを有機的に結合しながら、現代における様々な経済問題の本質を捉える洞察力と、企業経営の実践的な知識を併せ持った人材の育成を目的としています。

2017年度後期「地域企業研究Ⅳ」では、17社の協力企業の中から、サンメッセ株式会社、矢橋工業株式会社、イビデン株式会社の3社にご協力をいただきました。サンメッセ株式会社及び矢橋工業株式会社の両社からは本学でのご講義をいただいたほか、実際に企業訪問し、工場等を見学させていただきました。

また、イビデン株式会社のご講義では、同社セラミック事業の海外拠点の進出先の決定プロセスのケーススタディをもとに、与えられた条件のもとで他との比較における優位性を計り、コストやリスク分析を踏まえたうえで海外進出先を決定するというグループワークに取り組みました。このような実際の企業経営において行われている判断を、ケース分析としてご講義いただくことを通じて、学生たちは、まさに生きた経済について学んでいます。

また、イビデン株式会社のご講義では、同社セラミック事業の海外拠点の進出先の決定プロセスのケーススタディをもとに、与えられた条件のもとで他との比較における優位性を計り、コストやリスク分析を踏まえたうえで海外進出先を決定するというグループワークに取り組みました。このような実際の企業経営において行われている判断を、ケース分析としてご講義いただくことを通じて、学生たちは、まさに生きた経済について学んでいます。

「地域企業研究Ⅳ」授業日程・担当者

日程	会社名	授業担当者	講義テーマ
9月21日		経済学部准教授 菊本 舞	オリエンテーション(受講にあたっての説明・課題指示)
9月28日	サンメッセ株式会社	取締役執行役員 総務部長 竹林 啓路氏	印刷の歴史・印刷の仕組み
10月 5日		経済学部准教授 菊本 舞	サンメッセ株式会社に関する事前学習
10月12日	サンメッセ株式会社	取締役執行役員 総務部長 竹林 啓路氏	サンメッセの取り組み(工場見学)
10月19日			サンメッセの進めるポスト印刷事業「4つの事業」
10月26日		経済学部准教授 菊本 舞	矢橋工業株式会社に関する事前学習
11月 2日		経済学部准教授 菊本 舞	イビデン株式会社に関する事前学習
11月 9日	矢橋工業株式会社	管理部次長 清水 一昭氏	工場見学(愛宕鉱山・乙女坂工場)
11月16日			会社概要(矢橋グループ含む)
11月30日			社会人としての心構え
12月 7日	イビデン株式会社	理事 経営企画本部	生産拠点の海外進出
12月14日		副本部長兼人事・総務部長 川崎 保典氏	生産拠点の海外進出(グループワーク)
12月21日		経営企画本部 人事総務部 人事グループ 専任マネージャー 天野 鏡子氏	時代に合わせた働き方、ダイバーシティ(グループワーク)
1月11日		経済学部准教授 菊本 舞	まとめ・プレゼンテーションの準備
1月18日		経済学部准教授 菊本 舞	プレゼンテーション(受講生による個人研究成果の発表)

勝田美穂教授の本「市民立法の研究」が表彰されました。



勝田美穂教授が本学の出版助成により出版された「市民立法の研究」で、2017年9月に日本臨床政治学会より「日本臨床政治学会出版賞」を受賞されました。

理事の先生方のご厚意をありがたく思っています。まだまだ頑張れという励みだと受け取っていますので、また次の課題に取り組みたいです。

岐阜経済大学研究業績書18

「市民立法の研究」勝田美穂著 法律文化社 2017年2月

市民が立法過程に参画し実現した、児童虐待防止法、性同一性障害者特例法、発達障害者支援法、自殺対策基本法、風営法改正の5つの事例を検証、考察。学術上の論議も整理し、理論と実態から市民立法の意義と実現への要因を明らかにする。



本学の「共育型インターンシップ・プログラム」

本学は、地元政財界の支援のもとに設立され、「地域に有為の人材を養成する」を教育目的に50年歩んできました。この50年で、25,000人余りの卒業生を社会に送り出し、卒業生は社会の様々な場所で活躍しています。また、「キャリア形成教育(キャリアを拓く)」を教育理念の一つに定め、専門教育に加え、豊かな人間性を涵養する教養教育と学生自身のキャリアを拓くための就職支援教育を有機的に統合させた教育を展開しています。

一方、我が国の高等教育政策に目を向けると、平成23年1月の中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」において、大学の教育課程におけるキャリア教育の展開が求められています。

以上の状況を踏まえつつ、本学のキャリア形成教育の一翼を担うインターンシップとして、学生と企業が共にメリットを感じ、成長することができる「共育型インターンシップ・プログラム」を推進していきます。このプログラムは、大学における学修と社会での経験を結びつけることで、学生の大学における学修の深化や新たな学修意欲の喚起につながることも、学生が自身の職業適性や将来設計について考える機会となり、主体的な職業選択や高い職業意識の育成が図られる有益な取組となります。

プログラムの概要は、次のとおりです。

A ジョブシャドウイング

入学したばかりの1年次の学生が、多様な

価値観を持った社会人と触れ合う機会を創出することで、多様な社会の仕組みなどを学ぶばかりでなく、大学での学びの重要性や、自身の学修計画の立案の機会とするプログラム。

B 短期インターンシップ

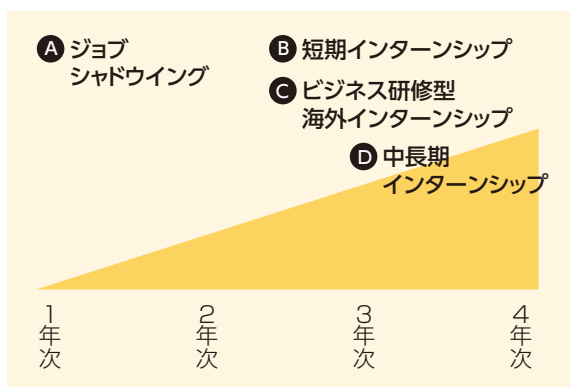
2、3年次の学生を対象とする3日から2週間未満程度の期間で実習を受ける一般的なインターンシッププログラム。

C ビジネス研修型海外インターンシップ

2、3年次の学生が、海外で1週間程度のビジネス研修を受けるプログラム。

D 中長期インターンシップ

3年次を対象とする2週間から1ヶ月程度の中期、または、2ヶ月から6ヶ月程度の長期期間の「実践中心」のプログラム。



募集方法等は、4月以降のガイダンス等で案内します。多くの学生の積極的な参加に期待します。

Close-up OB

OB紹介

アートが人をつなぎ街を創る

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

画家で現代美術造形作家。「アートが人をつなぎ街を創る」のコンセプトのもと、芸術活動の一環として県行政の一端を担い21世紀に残すべき文化の育成に尽力と情熱を注いでいます。三重県まちかど博物館推進委員会顧問で「久波奈江戸新撰館」館長。浅井造形美術研究所長。国立鈴鹿高専美術講師歴は今年36年目を迎え、昨年桑名市文化功労者表彰して頂きました。

Q2. 大学在学中はどのような大学生活を送っていらっしゃいましたか。

新設の大学ということで施設等、満足なものではありませんでした。しかし皆で歴史を創って行くという気概と情熱に加えて、自由で先取的な校風がありました。又大学に入って新たな自己の発見に対し、それを促し補いうるに余りある教授陣やスタッフが揃っていて、経済学の他にも人間形成を親身にご指導頂き、伸ばし育てて頂きました。

Q3. 大学で学んだどんなことが、現在役立っていますか。

人間生活に経済学は欠かせないもの。不安定な芸術活動の経済基盤を盤石にし、芸術家として大成するために何が必要かを考え「生活は質素に、表現は大胆に」をモットーに、ローコストで最大の効果を産み出す会計学を学びました。卒業記念品の飯田学長「選択と人生」の皿書の如く、恩師・大学スタッフ・学友との「選択による出会い」で、運命に導かれるように芸術に邁進することができました。今日岐阜経済大学は私の美術館でもあり、人生も又大学のお陰です。

Q4. 在学生に向けて一言メッセージをお願いします。

大学は全人教育の場であり、勉学に励み専攻は勿論、積極的に自己啓蒙の教を乞うことが大切です。教授陣・大学スタッフ・校友を宝に、卒業後も校友会を大切に。積極的に参加し「出会いと人生」を大切にすれば、生涯の師として導いていただき有意義な人生になることでしょう。「人を愛し、人を信じ、人に尽くす」



現代美術造形作家
浅井 清貴さん
経済学部経済学科(1977年度卒業)



浅井清貴氏の作品(飛翔の掌)

新3年次生向け(現2年生)

3年次に開講されるキャリア形成Ⅲ・Ⅳの講義において、就職活動の実践的な講座を行うとともに、キャリア支援委員会及びキャリア支援課が主催する各種支援行事を用意しています。正課及び課外の行事を有機的に結び付け、皆さんのキャリア形成を支援します。

行事名	日程
キャリア形成Ⅲ	前期
キャリア形成Ⅳ	後期
キャリア支援課スタッフによる個別面談	9月26日(水)~11月14日(水)
保護者向け就職活動説明会	2019年2月4日(月)
業界研究セミナー(学内企業セミナー)	2019年2月4日(月)・5月18日(土)・10月予定
就職特別講座(みんない)※集中講座	12/8(土)・9日、12/15(土)・16日、12/22(土)・23日、2019年2/2(土)・3日
就職特別講座(みんない)※通常講座	複数回予定
外国人留学生向け就職ガイダンス	複数回予定

※就職環境に合わせて、変更することがあります。

新4年次生向け(現3年生)

3月までの大学生活で学んだ知識・体験を活かし、就職活動の満足度を高めましょう。

就職活動には、多くの未知の壁が立ちちはだかっています。一人で超えていけるものもあるでしょう。しかし、時には、不可能の時もあるでしょう。そんなとき、友人、ゼミの先生など第三者からの助言で救われることもあります。キャリア支援課スタッフは皆さんを全力でサポートします。気軽に、キャリア支援課スタッフに相談してください。

行事名	日程
キャリア支援課スタッフによる個別相談	随時
学内企業セミナー(合同企業説明会の学内版)	5月19日(土)13:00~ ※約40社
就職特別講座(みんない)※通常講座	4月(6回)・5月(4回)

キャリア支援課は、皆さんに合同企業説明会を案内、求人情報を提供するために、電話、メールを利用します。電話は0584-77-3500、メールは、〇〇〇〇(キャリア支援課スタッフの名前等)@gifu-keizai.ac.jpです。

2018年度 キャリア支援学内行事の案内



経済学部経済学科4年
小西 丘悟
(三重県 南伊勢高校出身)
大垣市役所 合格

1. 公務員を目指した理由

ゼミで専攻した地方財政論に魅力を感じました。公務員を志した大きなきっかけでもあります。理論や制度について文献で学んだ後、現実の地方財政の状況について理解するため、高山市を対象に共同研究を行いました。現在は、同じゼミの2年生と一緒に、津津市の財政について、津津市の職員の方々と共同研究を行っています。高山市役所でヒアリングをした際に職員の方から「公務員

は地域の行事等に積極的に参加していく中でニーズを吸い上げ、それを政策に反映させることが大事である」というお話を頂き感銘を受けました。職員の方の地域に対する熱い思いが伝わり、私もこのような気概を持った公務員になりたいと思いました。

2. 公務員試験対策

公務員試験対策を進める中で、基礎学力の問われる教養試験の伸びに限界を感じました。そこで、3年次の時には、高校までの授業にない経済や法律科目等から成る専門試験の勉強を始めました。面接にも備えるために、PAC(公務員試験対策)支援室やキャリア支援課を積極的に活用するだけでなく、地方財政論のゼミで、財政分析を通じて自治体政策について学びを深めました。

3. 後輩へのアドバイス

いろいろなことに挑戦することは必要ですが、その中で、全力でやりきったといえる経験をするのが大切だと思います。その過程で自分が成長でき、多くの事を吸収できると思います。



経済学部経済学科4年
久野 亜弥香
(岐阜県 大垣商業高校出身)
株式会社大垣共立銀行 内定

1. 銀行を目指した理由

生まれ育った地域で就職したいという思いが強くなりました。業界や企業への学びを深めていく中で、経済活動を円滑にし、資金面で基盤を支える金融機関の役割に感銘を受けました。そして、数ある金融機関の中でも地方銀行は、地域に根差し、地域社会を支え、豊かにする役割を担う中心的な存在です。そのため、地域の人々の生活に寄り添い、満足を実現するためのお手伝いができる仕事に関わることができると思い、銀行を目指しました。

2. キャリア支援課の活用

就職活動を進めていく中で、情報を得ることや履歴書の作成がとても大変でした。キャリア支援課では、就職セミナーや企業などの情報が豊富にあり、職員の方から就職に関するさまざまな情報を教えていただけるため、何度も足を運びました。そして、履歴書やエントリーシートなど添削をはじめとして、書類の書き方や会社説明会でのマナーなど、少しでも不安に感じたことはそのままにせず、キャリア支援課でアドバイスをいただくことを心掛けていました。

3. 後輩へのアドバイス

就職活動は、日々の積み重ねが大切だと思います。そのため、企業研究や合同説明会に積極的に参加して、一つ一つの機会を大切にしてください。一人で解決できないことは、積極的に周りの方々の助言を仰ぐことが必要です。そして、自分自身と向き合い、何事にも粘り強く取り組むことで希望する進路選択に繋がっていくことができると思います。

内定者報告

2017年度卒業予定者の主な内定先(業界別) 2018年3月1日現在

公務員・教員

大垣市役所、津津市役所、本巣市役所、岐阜市消防本部、警視庁、高知県警察、長野県警察、三重県警察、(学)松翠学園、(学)富田学園

民間企業等

岐建(株)、東京セキスイハイム(株)、大垣ガス(株)、沖縄電力(株)、アテナ工業(株)、一丸ファルコス(株)、揖斐川工業(株)、(株)オンダ製作所、静岡森紙業(株)、セブン工業(株)、太平洋工業(株)、(株)デリカサイト、日本耐酸塩工業(株)、富士変速機(株)、(株)インフォファーム、山九(株)、四国旅客鉄道(株)、トランコム(株)、日本郵便(株)、濃飛西濃運輸(株)、滋賀特機(株)、(株)扇港電機、(株)西原商会、パナソニックコンシューマーマーケティング(株)、ホシガキ沖縄(株)、(株)オンワード樞山、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)パローホールディングス、マックスバリュ中部(株)、(株)大垣共立銀行、(株)沖縄海邦銀行、(株)富山銀行、(株)福邦銀行、磐田信用金庫、高山信用金庫、東濃信用金庫、八幡信用金庫、福井信用金庫、東海東京証券(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)、沖縄県農業協同組合、とびあ浜松農業協同組合、氷見市農業協同組合、(学)大垣総合学園、沖縄総合警備保障(株)、岐阜県厚生農業協同組合連合会、グルージャ盛岡、(株)コパン、埼玉西武ライオンズ、ザテラスホテルズ(株)、(株)仙台銘板、セントラルスポーツ(株)、高見(株)、(株)トーカイ、(合)ユニバーサルホテルマネージメント 等

ダブル「カイト」がプロ選手



硬式野球部

BASE BALL

與座 海人、埼玉西武ライオンズ入団への軌跡



経営学部スポーツ経営学科4年
與座 海人(よざ かいと)
沖縄県 沖縄尚学高校出身

2017年10月26日は、私にとって一生忘れられない一日です。

大学卒業後も野球を続けたいと思っていましたが、2017年シーズン開幕は、まだ行き先が決まっていない状態でのスタートとなりました。社会人野球の企業チームへの練習参加など、積極的なアピールをしましたが、アンダースローという特殊な投げ方は希少価値ではあるが、見栄えがしないというのが本音のようでした。しかしながらこの投法は、私が大学に入ってから試行錯誤を繰り返しながら苦労して作り上げてきた型だったので、それを必ず何処かの誰かが評価していただくと信じていました。春季リーグ戦中も、投球フォームに更に磨きをかけ、打者のタイミングを外すクイックモーションや変化球のキレや精度を上げるための研究を怠らずやってきた成果が、全日本大学野球選手権大会出場や、10月26日のドラフト指名に繋がったと思っています。

全日本大学野球選手権以降は、ほぼ毎日のようにプロのスカウトの方々にグラウンドに来ていただき、色々な話をしている中で、小さい頃の夢だったプロ野球選手が現実的なものになってきました。ドラフト会議当日は比較的リラックスして待つことはできましたが、4順目の指名が終了した時点で名前が呼ばれていない状況には流石に焦りました。多くの大学関係者やマスコミが見守る中で、埼玉西武ライオンズに5位指名をいただいた時は、喜びと安堵から涙を流してしまいましたが、ここは私にとってのゴールではなく、これからが本当の勝負だと覚悟を決めた一瞬でもありました。

私は、この岐阜経済大学で多くを学び成長させてもらいました。この恩に報いるのはプロで結果を残すしかないと考えています。今後とも温かいご声援を宜しくお願いいたします。

硬式野球部監督 小森 茂

岐阜経済大学に新たな歴史を創った與座海人に敬意を表したいと思います。
與座は「エース」としてだけでなく、「主将」という肩書きや「大学創立50周年」など、多くの重いものを背負ってシーズンインしました。結果的に全日本大学野球選手権大会初出場、同大会ベスト8、埼玉西武ライオンズドラフト5位指名と理想的な展開となりましたが、これまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。チームを活性化させるためのミーティングや、練習方法の研究を積極的に行い、自らが率先してそれらを実行しチームを鼓舞し続けました。時には孤独と闘ったこともあったかと思えます。プロ野球は簡単な世界ではありません。覚悟を決めて飛び込んだ以上、その道を極め全うして欲しいと思います。監督として心よりエールを送ります。



スキー部

SKING

ニュージーランド国際大会 (ハーフパイプ) 準優勝

今季よりスキー・ハーフパイプ競技の世界カップ(W杯)に出場している和田選手が、昨年8月にニュージーランドで行われたCARDRONA GAMES 2017で準優勝を飾りました。この大会はW杯の1つ下のレベルの大会です。W杯での最高位は14位でした。和田選手は、中学2年の時にはジュニアオリンピック(エーデルワイス)のモーグル競技で3位入賞を果しており、高校進学後にハーフパイプに転向し活躍しています。今年の2月には岐阜県スポーツ賞、大垣市民大賞の2つの賞を受賞しました。



経営学部スポーツ経営学科4年
和田 博雄(岐阜県 高山工業高校出身)



陸上競技部

TRACK AND FIELD

日本インカレ 4位入賞



経営学部スポーツ経営学科3年
水野 佑哉(岐阜県 大垣商業高校出身)

日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)4位。日本選手権出場。U-20日本選手権大会7位。東海学生陸上競技対校選手権大会優勝。小学3年から高校3年まで野球をしていました。ポジションはピッチャーで中学時代は県ベスト4の実績。大学で陸上競技を始め、めきめき才能を伸ばし全国で活躍する選手に。現在、本競技部主将を務める。

カイト 與座 海人、谷口 海斗



サッカー部

SOCCER

グルージャ盛岡 (J3) 入団への軌跡

2年次から得点力でチームへの貢献をしたいとセンターバックからフォワードへ転向し、自分自身が得意とする足元とスピードを周りが活かしてくれて得点もでき、2015、2016シーズンと大学の過去最高成績を更新することができました。この結果と得点力の評価を受け、東海学生選抜に選出され、全国大会に出場ができました。ここで夢だったプロが現実への志願となりました。

今期はチームキャプテンとしてチームをまとめる傍ら、本学初のJリーガーという夢を追いかけ実現に向け精一杯チームのため、応援してもらった家族や仲間のために戦いました。目標としたインカレには出場できなかったですが、東海リーグ得点王を獲得させていただけました。そして、グルージャ盛岡にご縁をいただき、Jリーガーとしてプロの舞台に立たせていただけるようになりました。スカウトの方が大学にお越しいただき、吉田GM、寺田監督と4人で交渉を行った時は緊張し何も言うことができませんでしたが、これがプロの世界に入るといふことなのかと感じました。この時の気持ちを忘れないよう自分を律して行きたいと思えます。

岐阜経済大学は夢を叶えられるステージがあります。後輩たちにもぜひ頑張ってもらいたいです。また、追ってもらえるよう頑張ります。



撮影：中本 岳人氏



経営学部スポーツ経営学科4年

谷口 海斗(たにぐち かいと)

三重県 四日市中央工業高校出身

サッカー部監督 寺田 亮太

岐阜経済大学として初めてのJリーガーとなった谷口選手は主将として、新シーズンをスタートしました。3年次に東海選抜に選出され、東海リーグでは一目置かれる存在となり、徹底的なマークに合い、前期リーグは苦しみましたが、夏を過ぎた辺りから得点を量産し、見事に得点王に輝きました。その勢いのままグルージャ盛岡への入団が決まりましたが、谷口選手の4年間の努力が身を結んだと言えます。高校時代は応援団長で全国大会を経験できずにいましたが、その悔しさを糧に大学では人一倍練習に励み、4年間でJリーガーになるまでに成長しました。自らトレーニングメニューを考え実行し続けた谷口選手にはプロとしてこれから少くない挫折を味わうと思いますが、今までの経験を自信として全力で突き進んで欲しいと思います。

岐阜経済大学創立50周年記念対談「心で走る」

11月19日(日)、岐阜経済大学講堂で、瀬古利彦氏(横浜DeNAランニングクラブ総監督)をお迎えし、揖斐祐治氏(岐阜経済大学駅伝部監督・経済学部講師)との対談が開催されました。日本長距離界の第一人者である瀬古利彦氏と岐阜経済大学駅伝部監督として、チームを全日本大学駅伝・出雲駅伝出場に導いた揖斐祐治氏との対談が実現しました。お二人は、かつてエスピー食品で監督と選手の師弟関係にあり、現在も関係は続いており、走ることの魅力について語り合いました。揖斐氏は瀬古氏の指導方針に影響を受けたとのこと。瀬古氏からは、「全国大会の常連校になって欲しい」とエールを送られました。

当日は、岐阜経済大学校友会(卒業生の組織)の総会が行われ、校友会の主催で対談が開催され、校友130名と一般参加者200名の合計330名が参加しました。



岐経祭2017を開催しました



キャンパス 彩々 Campus Saisai

2017年11月18日(土)・19日(日)に、
岐経祭2017が開催されました。



今年のテーマは、大学創立50周年を迎え、大垣女子短期大学との法人合併、キャンパス整備等で、本学が生まれ変わろうとしており、「REBORN(リボーン)」としました。あいにく、雨模様でしたが、シンガーソングライター「chay(チャイ)」によるトーク&ライブ、お笑い芸人「おばたのお兄さん」「三ツ星ジョージ(岐阜県住みます芸人)」によるお笑いトーク&ライブをはじめ、本学沖縄県人会による沖縄伝統芸能の「エイサー」、ベトナム人留学生による民族ダンス、ビンゴ大会などのステージ企画、各種模擬店などにより、多くの方にご来場いただき、大学創立50周年という節目の年にふさわしい、充実した大学祭となりました。

御礼あいさつ



岐経祭実行委員会 委員長
平林 篤さん
経営学部情報メディア学科3年
(富山県 富山第一高校出身)

今年度も無事に岐経祭を開催することができました。

まずは、開催するにあたって多大なるご協力いただいた企業の皆様、教職員の皆様、学生会をはじめとする学生の皆様、他大学の学園祭実行委員会の皆様、そしてこれまで共に頑張ってきた実行委員の皆さんに深く御礼申し上げます。

今年度は、大学創立50周年並びに学校法人大垣総合学園として新たにスタートしたことから、岐経祭のテーマを「REBORN(リボーン)」に設定しました。

本学が生まれ変わる、そして私たち岐経祭実行委員も新しいことにチャレンジし、生まれ変わるという意味を込めてこのテーマに決めました。皆様に、「来年もまた来たい」と思っていただけのような岐経祭にするため、全力で準備を進めてきました。

おかげさまで、悪天候にも関わらず、会場には多くの皆様にご来場いただき、これまでにない新たな岐経祭の形ができ、私も実行委員のメンバーと共に成長できたと思います。岐経祭を成功させた達成感は今でも忘れられません。

来年度の岐経祭2018もぜひご期待ください。

ベトナム民族ダンス



沖縄県人会



のど自慢大会



ダンス部



石原健一教授最終講義

本年度を以って退職される石原健一教授(前学長)の最終講義が1月26日(金)に行われ、学生、教職員、卒業生など120名ほどが聴講しました。

初めに宇佐見経済学部長から石原教授の経済学部長、学長歴任などの経歴が紹介されました。

講義では、自身の大学入学や経済統計学、計量経済学を学びきっかけなどのエピソードを披露した後、「経済学における計量経済学の発展とその有効性について」と題し、計量経済学の理論、歴史を解説したうえ、マクロ計量経済モデルに基づく経済予測が不可能であることを解説されました。

最後に、学生との異文化体験旅行やゼミ海外旅行などの思い出や、本学赴任から、全役職及び組合委員長を経験し、今までに成し得たことなどを回想し、学長として大垣女子短期大学との法人合併を成し遂げたことなどを話されました。

2018年には、大垣市総合計画審議会会長、同文化事業団理事等を務め、都市計画、文化活動の推進に尽力した功績が認められ大垣市功労賞を受賞しました。



外国人留学生と日本人学生との交流会 「第1回グローバル交流会」を開催しました。

2017年11月22日(水)に、外国人留学生のための交流行事の一つ、「第1回グローバル交流会」を開催しました。これは、今年度より開催する外国人留学生と日本人学生との交流会です。今回は、外国人留学生27名(ベトナム、中国、ネパール、アメリカ)と日本人学生15名の計42名が参加しました。

ウェルカムイベント(ベトナム人留学生による民族ダンス)の後、交流会はスタートし、初めに、タマング ラジユさん(経済学部経済学科3年次。ネパール出身)から、ネパールの歴史・文化・地理や、日本と異なる特徴(世界最高峰のエベレストなど標高の高い山10座のうち8座がネパールにあること、一般的な西暦とは違う暦(ヴィクラマ暦)が存在すること(2018年はネパールでは2075年、両国での生年月日も異なるなど)の紹介があり、とりわけ日本人学生は興味津々で聞き入りました。

続いて、学年も国籍も様々な学生が4テーブルに分かれ、アイスブレイク※(今回は他己紹介(たごしょうかい)※)を行いました。実際に、何人かが参加者の前で他己紹介に挑戦しましたが、昔から知っている友達同士のように紹介できました。

また、キャリア支援課より、「留学生対象の企業インターンシップ」に関する説明・案内があり、日本での就職を希望する留学生が多いこともあり、真剣にメモを取っていました。最後に、参加者全員によるビンゴ大会で盛り上がった後、グローバル交流会は閉会しました。

参加者からは、「外国人留学生と仲良くなりたいたいと思っている学生は周りに多いので、次回は誘って一緒に参加します。」「ネパールからの留学生の話で、ネパールを少し身近に感じた。」「こういう機会にいろいろな友達を作れるので、これからも参加したい。」などの感想がありました。

今後も、「グローバル交流会」は継続して開催しますが、どの学生も新たな友達を作り、より充実した学生生活を送れることを願っています。

※アイスブレイクとは……行事参加者の緊張(アイス)をときほぐす(ブレイク)ための手法で、参加者同士のコミュニケーションをとりやすくするために、行事参加者全員が積極的に関わるようにする効果がある。

※他己紹介とは……アイスブレイクの手法の一つで、2人1組になり、お互いが自己紹介を合わせたうえで、参加者の前で相手の紹介を行う。



「第16回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会」で トラン ミンドクさんが優秀賞を受賞!

2017年11月25日(土)に開催された「第16回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会」(会場:岐阜大学)で、トラン ミンドクさん(経営学部情報メディア学科3年次。ベトナム出身)が出場しました。大会には予選を通過した12名が出場、惜しくも最優秀賞は逃したものの、堂々の優秀賞受賞でした。

ドクさんは11番目に、「私を変えた日本」をテーマにスピーチをしました。

家庭環境(幼い頃の父の死、母が遠く離れた日本へ行ってしまったこと、母親の再婚など)から、悪友と行動し、暴走族にいた時期もあったこと、母親の一言で一念発起し、自分を変えたくて日本へ留学したこと、東日本大震災で家族を失いながらも復興支援に携わった自衛官に勇気をもらったこと、被災地の中学生が卒業式で涙ながらに読んだ答辞を胸にこれからも頑張ろうと思ったこと、そして何より、自分が一番不幸だと思っていたのは間違いだったことに気づき、今後は「与えられる人から与える人になろう」と思ったことなどを話しました。

会場には後輩の留学生や企業の方が、彼のスピーチを見るために来場していました。これは、彼が精力的に国際交流・地域交流活動に取り組んだ結果、様々な人とつながりを築いてきた証です。

来年度以降、後輩たちがこれに続き、彼のような達成感を味わってくれることを期待します。



スピーチを行うトラン ミンドクさん



中小企業とはどのような存在であるか

経営学部 おおまえとも ふみ
大前 智文 講師



私の研究テーマは「中小企業とはどのような存在であるか」です。これは簡単なようでいて、とても難しい問いかけです。中小企業の定義は中小企業基本法に定められています。例えば、製造業では資本金額3億円以下あるいは従業員数300人以下であれば中小企業となります。平成26年経済センサスに基づき、日本において中小企業の占める割合を見ると、全企業のうち約381万社(約99.7%)を占め、全従業員のうち約3,361万人(約70.1%)を雇用しています。中小企業は、その企業数では圧倒的な大多数を占め、欠かすことのできない財サービスを提供するとともに、雇用においても大部分を占め、社会経済の主要な担い手となっています。中小企業は日本の社会経済を根本から支える重要な存在です。

その一方、中小企業には中小企業であるがゆえの不利性や問題性を絶えず有しており、不安定な経営を余儀なくされています。そして、中小企業は一定不変ではなく、淘汰廃業と新生開業を繰り返す動的な存在です。

私は中小企業の不利性や問題性を前提としたうえで、現実において存立発展する中小企業のあり方に注目しています。独自の経営手法やビジネスモデルにより、基本的な不利性や問題性を克服し、力強く存立発展する中小企業が数多く存在しています。このような現実の中小企業のあり方を分析考察し、その理論を構築していくことが「中小企業とはどのような存在であるか」を説明する上での重要な考え方となります。

PROFILE

愛知県瀬戸市で生まれ育ちました。家業は陶磁器製造業を営んでおり、学業の傍らで手伝いをしていました。学部生時代には学問の面白さを知り、大学院生時代では自身の生い立ち・背景に関係する中小企業論を専攻しました。2013年から2017年まで名城大学経済学部特任助手として勤務しました。2017年4月に本学に着任し、駆け出しの研究者としてフィールドワークを重ね、中小企業に関する調査・研究に取り組んでいます。

趣味拝見

趣味は登山です。年に数回登っています。もちろん本学から見晴らすことができる伊吹山にも登ったことがあります。北・中央・南アルプス、八ヶ岳、御嶽山、白山など中部地域には素晴らしい山がたくさんあります。登山の魅力は様々にあり、言い尽すことができません。写真は八ヶ岳連峰の西天狗岳山頂(標高2,646m)です。変化に富んだ登山道と見事な眺望が印象に残っています。



近著紹介

「公民」が苦手だった人のための 現代経済学入門教室

三恵社 2018年1月



経済学部 教授
高橋 勉

中学「公民」の復習からはじめる、本当の意味の「入門」講義。その基礎知識をもとに、現実に行進している身近な経済現象を理解し、自分なりの意見がもてる力を養う。どのような流れのなかで経済が動いているのか、「経済のストーリー」を理解することに重点を置いている。臨場感あふれる語り口調と板書で解説する11講義。

グローバル競争と流通・マーケティング —流通の変容と新戦略の展開—

齋藤雅通・佐久間英俊編著 中西大輔共同執筆
ミネルヴァ書房、2018年1月



経営学部 准教授
中西 大輔

本書は、ミネルヴァ書房発刊の叢書「現代社会を読む経営学」(全15巻)の第9巻です。グローバル競争下の流通・マーケティングを分析対象としています。近年ではグローバル競争が激しく展開されるようになり、流通やマーケティングはかつてないほど大きく変化しています。本書では、グローバル競争によって資本の流通・マーケティングがどのように変容し、人々の消費生活にどのような影響を与えたかについて考察しています。

訃報

本学名誉教授、元学長の米田清治氏が、2017年7月18日に逝去されました(享年93)。米田元学長は、1950年京都大学大学院を修了後、京都府立大学を経て、岐阜経済大学開学時に着任され、研究分野はイギリス近代社会経済史、「西洋経済史」の講義を担当されました。1972年経済学部部長、1995年第7代学長に就任し、大学運営にご尽力されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。